(財) 岡山県警察職員互助会事業について

当該互助会は「岡山県職員の共済制度に関する条例（昭和 27 年岡山県条例第 28 号）」及び「岡山県警察互助会設置規則（昭和 30 年県警訓令第 9 号）」に基づき設置された。

寄附行為の公布日は昭和 51 年 7 月 9 日

【役員】平成 17 年度

・理事長＝岡山県警察本部警務部長・西郷正実、他 15 名（別紙参照）

~~~~~

事業の種類は以下のとおり。

- 1) 補助会計事業「医療費補助・体育文化事業・厚生事業（ドック診断・健康講座等）」
- 2) 福利事業「結婚、出産、慶弔費給付・体育文化事業・厚生事業＝永年勤続、退職者送別費用、宿泊助成等」
- 3) 貸付事業「厚生資金・奨学資金等の貸し付け」
- 4) 遺児等援護事業「殉職警察職員、職務執行中負傷、廃症及び死亡した職員の遺児等への援護金の給付」
- 5) 寺岡基金事業「元岡山県議、故寺岡良忠氏遺族からの寄付金を基金（3,000 万円）として青年警察官教養事業の教材などを購入」
- 6) 訴訟支援金給付事業
- 7) 機関誌発行事業「機関誌（後楽）の発行」
- 8) （特別会計）保険事業「一般生命保険、簡易保険の団体取扱。手数料は遺児等援護事業へみなし寄付金として繰出した」
- 9) （特別会計）物資事業「厚生物品の販売及び斡旋事業を実施した。3 月で売店を廃止」

~~~~~

<事業会計の区分>

1 補助金事業会計

当該会員からの掛け金（本給の約 0.08%）総額の約 50%を岡山県が助成金として補填したものである。

「収入」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
財産運用収入	57	379	
補助金	74,450	70,764	県助成金（決算書による）
繰入金（掛金）	38,250	21,957	
給付支払引当金	1,322	0	
過年度収入金	760	92	
前期繰越余剰金	0	3,124	
計	114,839	95,937	H15 補助金の割合 64.8% H16 “ ” 73.7%

「支出」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
給付事業	医療補助金	4,994	5,492
	家族医療補助金	5,461	5,055
	老人入院手当	521	452
	小 計	10,976	10,999
体育文化事業	リクリエーション活動経費	49,267	37,991
	クラブ活動経費	9,947	8,663
	美術作品展開催経緯	579	447
	小 計	59,793	47,101
厚生事業	人間ドック受診経費	37,757	34,391
	特別相談員委嘱	600	600
	生活設計研修会経費	483	0
	健康講座経費	0	72
	長期療養者訪問経費	25	20
小 計	38,865	35,083	H16 年度収入に対する割合 36.57%
人 件 費	1,811	612	
事 務 費	12	800	
過年度支出金	0	110	
役員報酬	200	200	
給付支払引当預金支出	1,829	1,833	
経費 小計	3,915	3,555	H16 年度収入に対する割合 3.70%
計	113,487	95,937	H16 年度繰越なし

2 福利事業会計

「収入」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
掛 金	139,956	136,419	加入職員約 4000 人と家族
財産運用収入額	1,556	2,489	
負担金収入額	1,100	2,000	
繰 入 金	14,000	4,000	
給付支払引当金戻入	0	0	
前期繰越余剰金	11,593	44,555	
計	168,205	189,463	

「支出」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考	
給 付 事 業	結婚祝金	9,000	9,200	
	銀婚式祝金	2,940	2,730	
	出産祝金	4,050	4,230	
	入学祝金	3,120	3,100	
	卒業祝金	1,790	1,630	
	入院見舞金	230	250	
	弔慰金	13,000	24,000	H16 年度予算額の 2 倍
	家族弔慰金	1,580	560	H16 年度予算額の 0.5
	小 計	35,710	45,700	
体 育 文 化 事 業	スポーツ・カルチャー教室助成	1,853	1,784	
	レジャー施設利用助成	186	199	
	スポーツ施設利用助成	873	897	
	機関誌発行助成	2,400	3,600	
	小 計	5,312	6,480	
厚 生 事 業	永年勤続表彰祝金	8,271	8,801	
	退職者送別経費	3,973	5,109	
	栄養食品購入助成	5,610	6,745	
	供花料交付	2,679	2,229	
	祝電・弔電打電経費	482	441	
	遺族供物料助成	394	499	
	宿泊施設利用助成	4,821	4,913	
	海外旅行費助成	1,367	0	H14 年度 2,310 千円あり
小 計	27,597	28,736		
人件費	4,903	8,937		
人件費負担金	0	2,687		
災害見舞金	0	2,290		
事務費等	788	1,292		
特定預金支出	357	16,808		
繰出金	38,250	21,957		
経費 小 計	44,298	53,971		
計	112,918	134,887		
余 剰 金		54,576	基金の総額 782,000 千円	

3 貸付事業会計

「収入」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
財産運用収入	0	0	H15=257 円・H16=205 円
貸付金利息	6,678	6,840	
剰余金取崩し収入	4,000	0	

前期繰越剰余金	7,328	12,177	
計	18,006	19,016	

「支出」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
繰 出 金	4,000	4,000	
事 務 費 等	729	1,133	
人件費等負担金	1,100	2,000	
計	5,829	7,133	
次期繰越剰余金		11,883	

「貸付金状況」単位：千円

区 分	年利息 (%)	貸付金残高	
厚生資金貸付金	2.88	223,070	
奨学資金貸付金	2.38	105,540	
災害復旧資金貸付	無利息	7,640	
一時資金貸付	無利息	0	
公務立替資金貸付金	無利息	8,000	
計		344,250	

- 5 寺岡基金事業会計（省略）
- 6 訴訟支援給付事業会計（省略）
- 7 機関誌発行事業会計（省略）

（特別会計）

- 8 保険事業会計

「収入」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
財産運用収入	2	2	
保険手数料等	50,415	49,876	
剰余金取崩収入	13,100	0	
前期繰越剰余金	5,523	23,627	
計	69,040	73,505	

「支出」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
繰 出 金	16,462	15,933	遺児等援護事業へみなし寄付金
加 入 促 進 費	5,317	1,148	
人 件 費	14,330	15,110	
事 務 費 等	7,315	5,952	
租 税 公 課	1,061	2,794	
法 人 税 等 充 当	5,951	4,823	
過年度支出金	0	32	
人件費負担金	0	4,569	

退職給与引当預金支出	688	2,412	
計	51,124	52,773	
剰 余 金		20,733	収支差益・次期繰越剰余金

「扱保険の種類及び保険手数料」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
一般生命保険料	25,773	24,977	
簡 易 保 険	4,694	4,640	
グループ保険	5,621	5,986	
団体傷害保険	4,450	4,379	
医 療 保 険	6,046	6,076	
自 動 車 保 険	3,342	3,330	
ゴルフアール保険	171	154	
つ り 保 険	5	4	
計	50,103	49,546	16 年度・取扱保険料＝0

(特別会計)

9 物資事業会計

「収入」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
財産運用収入	7	6	
商品販売益	2,113	920	
商品券等販売益	533	346	
受取手数料	13,191	13,681	
売さばき手数料	64,141	0	各部署の食糧費（主として飲料） やハイカ販売の廃止が原因か？
過年度収入金等	15	0	
特定預金取崩収入	841	0	
貸倒引当金戻入	0	100	
剰余金取崩収入	10,000	0	
前期繰越剰余金	23,371	38,143	
計	114,212	53,196	

「支出」単位：千円

区 分	平成 15 年度 決算額	平成 16 年度 決算額	備 考
繰 出 金	12,443	0	
普 及 費	400	430	
環 境 整 備 費	4,763	0	
物資販売促進費	3,719	0	
収入印紙売捌事務管理費	2,689	0	
人 件 費	38,672	10,202	
事 務 費 等	3,190	1,948	
施 設 負 担 金	2,277	2,195	

雑 費	8	50	
租 税 公 課	2,263	0	
法人税等充当額	5,833	0	
特定預金支出	340	333	
過年度支出金	21	0	
計	76,618	15,158	
剰 余 金		38,039	収支差益・次期繰越

10 【財産目録、正味資産、列記】

平成 16 年度決算 単位：千円

	事 業 名	正味資産	備 考
1	補助金事業会計	0	
2	福利事業会計	836,577	基本金 782,000
3	貸付事業会計	11,883	
4	遺児等援護事業会計	47,670	
5	寺岡基事業会計	30,459	基本財産 30,000
6	訴訟支援金給付事業会計	1,182	
7	機関誌事業会計	1,515	
8	保険事業会計	20,733	
9	物資事業会計	38,039	
	計	988,058	

<講評>

正味資産、9億8,800万円、基金・基本金を除いても約1億7,600万円の余裕資金がある。特に補助事業会計では、会員・家族への健康管理のための給付金等やレクリエーション活動等の経費は、「至れりつくせり」の制度、なお同様の事業が福利事業会計にも見られ、重複しているのではないかと懸念される。

近時、民間は医療負担に喘いでいるにもかかわらず、補助金まで投入して、互助団体会員を優遇することは時代錯誤もはなはだしい。また、警察内部の食糧費項目で、缶コーヒー・ドリンク剤まで当該互助会から買いつけ、平成14年度のハイウエーカードの販売額は約1,450万円にもなった。だがハイカの廃止に伴い物資事業会計が大幅な減収となり売店も廃止された。このような同一組織内での資金を運用は、民業圧迫の感がある。

貸付事業会計では、有利子貸し付け残高が約3億2,900万円、運用利息2.38～2.88%も徴収しているからすごい。諸保険料手数料も16年度で約5,000万円とあり、また反面、災害復旧資金764万円を無利息で貸し付けているのも疑問がある。

以上は概略だが、県費約7,000万円の補助はまったく不用であるといえる。

平成7年6月22日、香川県6月議会で真鍋知事は職員互助三団体への3億円補助を本年度一般会計補正予算で減額することに決めた。

我が県も県職員・県教職員を含め三互助団体の補助金約5億円も早急に廃止すべく決断してもらいたい。

<05.06.29>文責：重田